



発行日 令和2年10月7日



No.10

なぜ失敗したかより なぜ成功したかが大切だ

～「よし、それだ。できるぞ!」と励ましたほうがより成長する。根はいっしょだ。～

校長 宮 居 伝

過日の体育科学習発表会『くすのきオリンピック2020』には、多くの皆様に、子どもたちが頑張っている姿をご参観いただき、たいへんありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症予防の取組や平日開催など、いろいろな制限のあるなか、保護者の皆様には、子どもたちの健康管理をはじめ、ご理解とご協力をいただき、重ねてお礼を申し上げます。

ところで、以前にもPTA広報「五峯」で一部紹介をしましたが、学事出版から発刊されて小冊子（「生徒に贈る 夢と希望がふくらむ 150の言葉：佐藤 允彦 著」）に、次のようなコラムがありました。

失敗と書いて成長と読め （野村克也：プロ野球元監督）

「そんな無茶な!」と言いたくなるような言葉だ。野村さんは、「ノムさん」の愛称で親しまれ、プロ野球界で数々の記録を残した野球人である。監督としてもリーグ優勝・5回、日本一・3回の実績を残した名監督で、その采配は理論的でID (import Data) 野球と言われ、データを重視した指導でチームを優勝に導いた。

自由契約になった選手や実績のない選手でも積極的に活躍の場を与えて自信をつけさせ、「選手再生工場」という評価を得ていた。「人を育てるには自信を持たせることだ」という野村元監督の言葉は学校教育の場でも言えることだ。

標題の言葉は、NHKの番組「知るを楽しむ」で耳にしたものである。失敗すれば誰でも落ち込む悔やむ。とかく後ろ向きになり、進歩は期待できない。これは、「失敗は成功のもと」という至言を野村さん流の表現で表したもので、選手に「恥をかかなければ成長しない」という激励の意味も含んでいるように思う。

…(略)… 「なぜ失敗したかより、なぜ成功したかが大切だ」と。失敗の原因を探ることは科学の世界では大切なことではあるが、メンタルの要素が強いスポーツの世界では、かえってスランプを長引かせることになりかねない。それよりも成功した理由や状況をしっかりと記憶して、その感触を大切にしようが好成績を持続するのに役立つ。

学校教育でも同じことが言える。…(略)… 「よし、それだ。できるぞ!」と励ましたほうがより成長する。根はいっしょだ。

くすのきオリンピック2020
6年団体演技



「学校教育でも同じことが言える。…(略)… 『よし、それだ。できるぞ!』と励ましたほうがより成長する。根はいっしょだ。」という投げかけには、たいへん考えさせられるものがあるように思います。同じ失敗をしないためにも、失敗の原因を探ることは大切なことですが、そのことだけにとらわれることなく、日々の教育活動や子育てを進めていくことの重要性を感じています。

最後になりましたが、「くすのきオリンピック2020」の開催後には、子どもたちや教職員への励ましのお言葉をいただくなどありがとうございました。今後の励みとさせていただきます。

基本的な感染症予防のうえで!

「GO TO トラベル」をはじめとした、いろいろな施策が始まりましたが、このことを受け、専門家の方々は、その実施の大前提として「基本的な感染症予防（手洗い・マスク・消毒）が行われること」との指摘をされています。

一方、様々な制限があるなか、学校で学ぶことの教育的意義を見つめ、できる限りの感染症対策を行った上で、毎日の教育活動、そして節目となる取組を進めて参りたいとも考えております。

引き続き、「日々の予防に向けた新しい生活様式の習慣化や学校・家庭での生活、健康管理の延長上に、節目となる取組（例えば校外学習や音楽集会当日など）があること」をご理解いただき、子どもたちの健康管理や励ましを、よろしくお願いいたします。

PTA愛校作業 ご協力ありがとうございました

9月26日(土)のPTA愛校作業には、早朝より、PTA役員様ならびに多くのボランティア参加の皆様のご協力により、子どもたちの学習環境を整えていただきありがとうございました。

